

## 事前アンケート 【緩和ケアの地域連携】

「まあそう思う」、「そう思う」と回答した施設数 N=53

	n (%)
• 2次医療圏内の緩和ケア医療資源のマップやリストがある	45(84.9)
• 地域内の緩和ケア関係者が集まり、医療者が顔を合わせる意見交換の場がある	46(86.8)
• 地域内の緩和ケアの関係者が集まり、連携上の課題や問題を話し合う体制がある	32(60.4)
• 地域連携の課題解決に向けた改善活動が行われている	29(54.7)

(該当施設が9割未満の項目抜粋)

## 事前アンケート 【緩和ケアの地域連携】

### 取り組みの工夫

- 緩和ケアセンターが中心となり、関係職能団体と協力して在宅緩和ケアマップを作成している（青森県中）
- 多職種カンファレンスでは、地域医療機関からより多くの意見をもらえるようテーマを選定し、「えんたくん：円盤状の段ボール板」を活用した話し合いを行う（駒込）
- 緩和ケアチームメンバー等による地域の施設訪問による、顔の見える関係作りに取り組む（福井県立，岐阜大）
- 地域のかかりつけ医による緩和ケア提供体制づくりを目指し、少人数制の勉強会を行っている（兵庫がん）

### 取り組みに関する問題点

- 病院の連携部門と緩和ケアセンター部門との連携体制の構築が課題
- 医師会や焼成を拠点にした連携を構築するための情報が少ない
- 地域という範囲の設定が難しい
- 地域に緩和ケアリソース自体が少ない